

寺泊コミュニティ まちづくり部会

歴史探訪パート 2

令和4年7月17日開催

越後で唯一海で行われた戦争

「寺泊沖海戦」

長岡市文化財保護審議会 委員

～講師 鳴海 忠夫～

寺泊文化センターはまなすへ！

旧幕府輸送艦（順動丸）と、新政府軍の薩長軍艦（乾行丸・第一丁卯丸）の寺泊港で行った海戦についてお話をお聞きしました。



順動丸のシャフト見学！

汐見台に順動丸のシャフトを見に行きました。

シャフトはかなり朽ちていましたが、海戦当時の物を間近で見ることができ、みなさん感動しておられました。





興琳寺へ

薩長両艦は、海だけでなく旧幕府軍が駐屯しているような建物にも砲撃したそうです。

砲弾が興琳寺の山門を突き破ったということで、当時のその砲弾は今もなお、興琳寺に飾ってあります。



～参加者の声～

砲丸やシャトルなどを実際に見ることができ大変有意義でした。これらは、その時代のそこで時間が止まっている物であり、大変貴重な、2度と手に入らない物です。

ぜひ、大切に保存し、後世に語り継いでいってほしいです。

